

日体大



松浪健四郎

前進の手を緩めぬ日体大……2

瀧澤康二

同窓会の活性化に向けて更なる努力!……4

同窓会の活性化・日体ファミリーの実現を目指し
マーケティング講座 開催!……5

「成功事例に学ぶマーケティング講座」関連企画
女子活性化研究会……8

OBOG探訪……10

第49回日体フェスティバル2015報告……11

日体教学舎について……11

第53回

日本体育大学体育研究発表実演会……12

同窓会支部活動報告……14



前進の手を緩めぬ日体大

学校法人日本体育大学 理事長
松浪 健四郎

教員養成の伝統を踏襲

今年、わが法人および大学は、創立 125 周年を迎えます。今日まで営々と歴史を織り続けて下さいました先人たちに、謹んで感謝させていただきます。歴史と伝統は、関係者の努力の結晶、現在の隆盛の基礎を築いて下さり、新たな決意でその上積みを重ねて行かねばなりません。125 周年を迎えて、一丸となって前進することを誓わせていただきます。

私は、6 月で就任 5 年となります。この 5 年間、母校発展のために改革を重ねて参りました。時代を読み、わが国の進む方向を敏感にキャッチし、先取りすべく、スピード感をもって改革に取り組んで参りました。旗印は、「からだにまつわる文化と科学の総合大学化」であり、最古の体育大学として、このジャンルのリーダー大学たる存在感を世に問う使命があると認識して施策を実行してきました。

もちろん、柱は「教員養成」であります。保育園から大学教員まで、あらゆる学校の教員を養成することのできる稀有な日体大となりました。念願だった特別支援学校教員の免許も出せるようになりましたし、そのための日本体育大学附属高等支援学校（北海道・網走市）も来春には開校の運びとなっています。

風土を改め協調路線

5 年前「スポーツ基本法」が施行され、私どもの分野の理解が相当拡大されました。この基本法に従って、日体大も改革せねばならないと思慮し、学部設置、学科設置を進めてきたところです。しかし、まだまだ不十分で、

日体大の進むべき終着点には遠く及びません。

少子化問題は、高等教育機関を直撃しています。定員割れの大学は全国で 43% もあるにくわえ、赤字決算の大学は 32% にのぼります。幸い、日体大は、この 5 年間、毎年受験者数を増加させています。今年も体育・スポーツ科学系の各大学は受験者を減少させましたが、日体大は微増とはいえ増加させました。これは日体大の実力による現象であるのか、それとも 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催による追い風であるのか、十分に分析する必要があると思います。

時代の流れは、想像以上に早く、大学もその流れの先を行く政策が求められます。教授会と法人が呼吸を合せ、共に相互の理解を進めつつ大学運営・経営の研究を真摯に実行中です。古き日体大の風土を改め、協調路線をとりながら、「発展」という目標に向けて疾走している姿を、私は誇りに思っています。

大規模大学への仲間入り

私が就任時、理事会で決定された、「国際化」「選手強化」「ワンファミリー化」の 3 本柱は定着し、ほぼ理解されていると感じており、予算案等にも反映されるようになりました。とはいえ、まだまだ時間がかかるでしょうが、着実に一步一步前進しています。黄金時代のあった各運動部は、その時代を取り戻すべく法人も協力して強化中であります。

大学は、体育学部を軸に、児童スポーツ教育学部、保健医療学部にくわえ、年内に「スポーツ文化学部」の設置が文部科学省に認められれば、4 年後には学生数が

7000名を突破し、中規模大学の中でもトップに立ちます。「スポーツ文化学部」は、武道教育学科(100名)、スポーツ国際学科(100名)の2学科からなり、外国で指導できる人材養成を目的としています。グローバル化社会に対応し、本学のミッションである「スポーツを基軸に国際平和に貢献する」ための指導者育成が狙いです。

日体大は、知名度、存在感は歴史のおかげで上位にランクされる大学であります。が、文科省の補助金額、科学研究費、受験者数等は、おしなべて全国大学の中で150位前後の位置にあります。まず、私は100位内の大学にすることを先輩諸兄姉に対する約束にしなければならないと考えています。そのためには、学生数8000人以上と謳われる大規模大学に昇格させねばなりません。そこで5つ目の学部設置が求められます。もちろん、新設学部が完成年度を迎えたならば、新設学科も可能になるゆえ、その研究も続行中であります。東京オリンピック・パラリンピックまでに、日体大は大きなチャンスが無駄にしてはならないのです。

大胆な入試改革の推進

学部、学科の充実だけでも大学の格は評価されません。大学院の充実こそが、学問の府としての使命であります。本年度中に「教育研究科」を申請し、来年には「医療研究科」を追加申請する準備を推進中です。いずれも修士・博士課程をもち研究機関としての体裁を整えます。とりわけ「教育研究科」は、昼夜開講とし、現場にいる教員の質向上に寄与したいと計画中です。

大学経営の要は、やはり財政基盤の確立であります。収支バランスのとれた、無駄のない会計が求められるうえ、将来の準備が大切でありましょう。中期・長期を睨み、日体大の変貌、発展を確かなものにして行くべきだと存じます。堅実な財政、計画性に富んだ予算、透明性の高い運営、何もかも民主的に運んで参らねばなりません。信頼される大学、それこそが日体大の真の姿であらねばならないと決意しております。

受験者数を確保することは、大学の生命線であります。同時に学力の高い秀れた学生を入学させるためには、現行の入試システムだけでは不十分と言わねばなりません。平成30年より日体大はセンター入試に参入します。遅きに失した感がありますが、現行のままでは受験者数を増加させるのは困難であると判断しました。入試改革も

相当幅広く行われてきましたが、“ふつう”の大学へ移行するには避けては通れません。

学部数を増やし、多様性に富んだ体育大学にするための一里塚、センター入試参入は日体大の変化を世に問う改革ともいえましょう。「スポーツビジネス学部」「身体芸術学部」「スポーツ危機管理学部」「スポーツメディア学部」等、日体大は設置せねばならない学部は多々あり、いまだ発展途上大学であるとの認識が必要です。それらの実現は、夢ではなく、やがて実現したいと痛感しています。

追隨を許さない魅力的校舎

東京・世田谷キャンパスは、すでに限界に達しています。横浜・健志台キャンパスを魅力的なものにする必要性は当然ながら、隣接する土地も可能な限り購入しております。将来構想を構想にとどめることなく、実現へ向けスタートを切っていると言っても過言ではありません。また、キャンパス整備は伝統校らしさを漂わせつつ、近代化を急いで参ります。

東京・世田谷キャンパスは、すでに美術館化、博物館化されており、多くの来学者の皆さんから感嘆の声が寄せられています。さらに磨きをかけて参ります。三越デパートからのライオン、名古屋・御園座からの緞帳、国際自動車からの密林の王者(ライオン)像等が本学に寄付され、キャンパスの重厚さが増しています。文化勲章受章者の作品ゆえ、一流作品の園と化しております。

横浜・健志台キャンパスも世田谷同様の仕掛けを目指しています。300年の樹齢を誇る太いオリーブの樹が3本も植えられたり、奄美大島同窓会から贈られた20本の蘇鉄、本間ゴルフ会長より巨大なライオン石像が寄贈されるなど、変化しつつあります。健志台は、やがてメインキャンパスになるため、図書館、研究室、教室の充実に力を注いで参ります。

いずれにせよ、日体大は昔の日体大ではありません。毎月のごとく国際社会の要人が訪問され、各地から視察に多数の方々が来学されます。私どもは、「世界一の体育大学」づくりのために、さらに精進させていただきます。

母校を久しぶりに訪問していただければ光栄に存じます。ぜひ、お越し下さい。

同窓会の活性化に向けて 更なる努力!

日本体育大学同窓会会長

瀧澤康二

本誌第4号が皆さんのお手元に届く頃、母校日本体育大学は創立125周年の佳節の年を迎えています。まずは、同窓会一同、こぞってこの佳節を祝福申し上げたく存じます。母校が創立以来数々の困難を乗り越えて今日、隆盛の時を迎えていることは誠に同慶の至りであります。ここに創立者、日高藤吉郎先生はじめ、これまでご尽力賜った多くの先人、関係者諸氏に対し、謹んで深甚なる敬意と感謝の意を表します。そして、私は今、改めてスポーツ文化がもつ計り知れないほどの教育的、社会的パワーを実感しています。また、同時にこの日体大で学べたことに大きな誇りを感じています。

さて皆さん、間もなく東京に再びオリンピック・パラリンピック大会がやってきます。この世紀の祭典は、世界平和の一手段として位置づけされているものでありますが、まさにオール日体大が一つになって活躍する重要な場でもあります。それは、「勝った・負けた」というような短絡的な意味ではありません。

ちなみに最近、私が時局に鑑みてドイツの友人に語ったことは、「友情は武器に勝る平和手段!」が反響を呼びました。友情を育み、認め合うにはお互い相手の幸せのために尽力しなければ、易々成し遂げられるものではありません。その意味におきましても毎年、国交のない朝鮮民主主義人民共和国を訪問してスポーツ交流を行っている母校とそのリーダーたる松浪健四郎理事長に対し、改めて深甚なる敬

意と感謝の意を表したく存じます。

翻って、同窓会の現状について考えてみますと、目標の「同窓会の活性化」達成まではまだまだかなりの困難が立ちまわっているとわざるを得ません。その意味でも平成27年10月10日に実施した「マーケティング講座」は、同窓会活性化の前に立ちまわるとする諸困難を打ち砕く威力をもつ内容であったと確信しています。今後、各地で行われます同窓会の研修会において、この講座で学んだマーケティング理論をくまなく広めて頂きたいと存じます。

同窓会本部が、同窓生一人ひとりの心の内を理解し、彼らの幸せのために尽力できなければ活性化に繋がらないということを肝に銘じて更なる努力をして参る所存です。幸いなことに、平成28年度入学生から学生身分のまま全員同窓会の準会員として入会して頂くことになりました。これもひとえに法人理事会が決議した「ワンファミリー化」政策のお陰です。少なくとも大学と保護者会、同窓会はこの崇高な理念に沿って協同していかなければなりません。

125周年を迎え、益々進化しつつある母校の応援団としての同窓会は、自らの活性化とともに母校の支援に努めて参りたいと存じます。今後とも引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

末筆ですが、皆さんの益々のご健勝とご多幸、そしてご活躍をご祈念申し上げます。

同窓会の活性化・日体ファミリーの実現を目指し——

マーケティング講座 開催!



いくつもの困難を打破し、 新たな「絆」を築くための手法 マーケティングとは?

はじめに

日体ファミリーの合同企画

母校創立125周年を目前に控えた平成27年度、同窓会は大学、法人、保護者会の理解・協力のもと、10月10日、東京・世田谷キャンパスにおいて「成功事例に学ぶマーケティング講座」を開催しました。

この講座は「次世代キャリア教育プロジェクト」として、次のような目的で開かれたものです。

1. 望ましい職業観・社会観・人生観、思考力・発想力・構想力・企画力を育成する。
2. それぞれの参加者が抱えている課題の解決手法を各分野の成功事例から学ぶ。

本講座には、在学生はもちろんのこと、保護者、教職員からもご参加をいただきました。

また、同窓会、そして会員ひとりひとりにとっても、有効で、実践が可能なスキル(技能)や事例が紹介されましたので、ここでは、その一部をご紹介します。

なぜマーケティング講座なのか 新しい「絆」構築を目指して

日本初の体育大学として、「名門」の名にふさわしい教育と活動、取り組みで、日本の体育教育を牽引してきた母校ですが、現在、体育教育プログラムを擁する大学はいくつも現れており、厳しい競争にさらされています。また、これまで母校は、あまたの体育指導の人材を輩出してきましたが、少子化のなか、そういった人材の活躍できる舞台は減少傾向にあり、教員採用試験も「狭き門」となっています。

本同窓会についても、母校同様、厳しい状況にあることは否めません。会員の減少、高齢化、若い会員の未入会や会員把握に悩む支部が多くあるのは事実ですし、日体ファミリーの絆の強化、ワンファミリー構想の実現への道のりには、いくつもの解決しなければならない問題が立ちまわっています。

そういった困難な状況を打破するためには、正確な現状把握と、それに基づく的確かつ精密なアクションプランが求められます。その際、有効な計画策定とその実践のスキルこそが「マーケティング」なのです。

大学(学友会)、保護者会、同窓会のそれぞれが、抱えている問題を解決できれば、各会の運営はスムーズに行われ、三者の連携は強化していきます。また、その逆に、三者の連携が強化されれば、各会が抱えている問題解決の可能性は高くなります。

このような三者による理想の陣形を実現すべく、各組織の具体的な運営力の強化と、三者の緊密な連携構築を図るために、「マーケティング」は不可欠なスキルだと言っても過言ではないのです。

「関係づくり」のための手法 それがマーケティング

「マーケティング」という言葉は、誰でも一度は耳にしたことがあると思います。本来はビジネス用語のひとつで、「生産者が自分のつくった商品やサービスを、スムーズかつ効率的に、消費者に渡らせる(買ってもらう)ための活動全般」のことをマーケティングと呼んでいます。

かつて、日本が高度成長の途上にあり、消費者に購買力があつた頃は、「いいモノをつくれれば売れる」という時代でした。しかし、現在、たとえ消費者に購買力があつたとしても、「いいモノ」は必ずしも売れるわけではありません。実際、先行きの不安から、「いいモノ」であっても買い控えされるということが多々起きています。

かつてのような劇的な高度経済成長が望めない現在は、むしろ「いいモノ」より「安いモノ」が売れる時代かもしれません。しかし、「安いモノ」をつくったとしても、ビジネスとして長期的な安定は維持できません。価格競争では、労働力が安い海外の商品のほうが強く、現在の日本がそれに勝てる見込みなどないからです。

では、いったい、我々にはどのような道が残されているのでしょうか。

それは、消費者=買い手のことを考えることです。《企業》は、《買い手》の生活環境や経済状況など、つぶさに調査し、《買い手》が何を望んでいるのかを把握します。そして、それに基づいて《商品、サービス》を考案・制作し、価格を設定します。そして、《買い手》に的確に届くような宣伝方法を編み出し、《買い手》が手に取りやすい流通経路を構築します。このように、徹底的に《買い手》のことを考え、様々な仕組みをつくるということ——これがマーケティングであり、現在、我々に残された戦略のひとつなのです。

つまり、マーケティングとは、モノやサービスの単純な販売方法などではなく、《買い手》との「関係づくり」のための手法なのです。

様々な分野で応用が可能な マーケティング

「関係づくり」の手法としてのマーケティングは、ビジネス以外の分野でも応用が可能です。事実、この講座で基調講演をいただいた本川祐治郎氏は富山県氷見市の市長であり、ビジネスであれば《買い手》と設定するところを《市民》と置き換えることで、画期的な自治体運営を行っています。たとえば、同窓会にしても、《買い手》を、《在学生》、《保護者》、そして《会員ひとりひとり》に置き換え、具体的なアクション

講座で発表されたマーケティング成功事例

自治体での成功



“市民は多様な能力の持ち主”
市民参加型の
まちづくりを目指す

富山県氷見市 市長
本川祐治郎氏

約5万人の市民を抱える氷見市は、人口減少の傾向にあり、財源の不足に悩んでいました。そんななか、平成23年3月11日、東日本大震災が起き、市庁舎をはじめ、様々な施設が耐震のための立て直しを迫られました。そこで、本川市長が活用したのがマーケティングの手法。「市民は多様な能力の持ち主」であるというコンセプトのもと、市民の様々な意見を集める方法を考案し、アイデアを集約。それを施設建築に活かすことで、市民が愛着を持てるまちづくりを目指しています。なかでも、廃校となった高校の体育館をリノベーションした新市庁舎は、防災対策の実現、市民サービスの向上、コストの削減という3つの課題を同時に解決したことで、各界から注目を集めました。

地方での成功



地方で働く女性をサポート
ニーズに合った
サービス提供で成功

株式会社サマンサハート
代表取締役
高橋真由美氏

高橋氏は、新潟で企業コンサルティング会社を運営しています。もともと、営業マンだった高橋氏の周りの女性社員は、地方ということもあり、ほとんどが家庭を持った主婦であり、「35歳が定年」という状況が当たり前となっていました。そこで、高橋氏は、新潟で働く女性が、年収350万円以上で、家族も大事にでき、35歳以上になっても働けるという職場環境をつくらうと、主に美容室や、エステサロン、ネイルサロンなど「美」の分野で働く女性たちを対象としたコンサルティング会社をつくったのです。そして、現在、彼女たちが起業できるように、単に、相談にのるだけでなく、開店の際、モデルとなるサロンも立ち上げるなど、様々な工夫を凝らしたサポート活動を展開し、成功しています。

ンプランを策定し、それを実行することができるはずで
 して、そこで生まれる「関係づくり」の成果が、同窓会の
 活性化につながっていくのです。

また、マーケティングは、企業といった組織だけでなく、
 個人にも活用できる手法です。たとえば、《買い手》を自分
 の《家族》や《会社の同僚》、《友人》に置き換えてください。
 そして、自分が伝えたいメッセージ、自分が達成したい願望
 が《商品、サービス》だと考えるのです。そうすれば、どの
 ように《商品、サービス》=メッセージを作成したり、加工・
 アレンジすればいいのか。いつ、どこで、どのように伝えれ
 ばいいのかということが見えてくるはずで

こんな人は、マーケティングが役に立ちます

- ▶ 家族や学校などでの人間関係を良好なものにしたい人
- ▶ 先行きが不安で、将来の展望が開けない人
- ▶ 今、抱えている事業や仕事を成功させたい人
- ▶ 自分の個性を活かして、社会に貢献したい人
- ▶ 強いチームをつくりたい人

今後、同窓会は、会員ひとりひとりが充実した人生設計と
 その実現が行えるよう、研修会など、様々な機会を利用して、
 今回の講座で紹介されたマーケティング手法を、皆様にお伝
 えしていきたいと思ひます。そして、この活動を通じて、同
 窓会の活性化を図っていく所存です。

教育現場での成功



目標は生徒と保護者の
 「不安」解消
 起業家育成に取り組む
 学科を設立

京都府立京都すばる高等学校
 企画科 学科長
貴島良介氏

すばる高等学校の前身は、京都府立商業高等学校。2003年、
 京都府は、生徒数が減少するなか、多様化する生徒のニ
 ーズに的確に対応できるよう高校の再編統合等を進め、この
 商業高校の学科改編を行い、校名も「すばる高校」と改めま
 した。その際、新しい学科を立ち上げる担当となったのが
 貴島氏。この厳しい時代においては、就職などの将来につ
 いて悩んでいる生徒、保護者の不安を解消することが第一だ
 と考えた貴島氏は、社会的・職業的に自立できる力を与える
 教育=キャリア教育を行おうと決め、企画科という学科を
 設立しました。これは、マーケティング、商品開発、課題研
 究の3つの課程から成るプログラムで、学んだスキルが、そ
 のまま社会で活かせるように編成されています。

平成27年10月10日開催

マーケティング講座 講座内容 敬称略

主催

日本体育大学同窓会
 日本体育大学
 学校法人日本体育大学
 日本体育大学保護者会

共催

日本マーケティング・マネジメント研究機構 (JMMO)
 株式会社企画塾

主管

日本体育大学同窓会イベント実行委員会
 「チーム黎明 TEAM REIMEI」
 日本体育大学スポーツ経営管理学科(スポーツマネジメント)ゼミ学生

開会・歓迎のあいさつ 9:50

学校法人日本体育大学 理事長
 松浪健四郎

第一部 10:15～12:00

1. 解説 増販増客・活性化の仕組みづくり

株式会社企画塾シニア・コンサルタント
 高名一成

2. 基調講演 “ソフト”と“ハード”で人の流れを変える 氷見市フューチャーセンター庁舎の挑戦

富山県氷見市長 本川祐治郎

第二部 13:10～14:45

成功事例から学ぶ成果が上がり続ける『仕組み』の作り方

1. サロン&企業への集客、売上増提案を通した 女性マーケティングの市場拡大

株式会社 サマンサハート(新潟県)代表取締役
 高橋真由美

2. ビジネス社会との接点を重視した特色ある教育の推進

京都府立京都すばる高等学校 企画科 学科長
 貴島良介

MP講座 成果発表 ※

1. 若獅子はぐくむ同窓会プロジェクト

塩谷和雄 (日本体育大学同窓会・幹事長)

2. オープンキャンパスの参加者増加～来なくなる大学づくり～

草野里南 (日本体育大学スポーツ経営管理学科ゼミ・3年)

3. 日体大らしい地域貢献活動の提案

佐野昌行 (日本体育大学・助教)

第三部 15:10～16:50

パネルディスカッション

1. 成功事例に共通する“ぬくもり”と“ちから”

2. 講評・総括講話「日体ファミリーの可能性」

株式会社企画塾代表取締役・塾長
 日本マーケティング・マネジメント研究機構主宰
 高橋憲行

諸連絡

閉会のことば

※MP講座: 職企画塾が開講するマーケティング・プランナーを養成する特別講座

女子活性化研究会



女性の力を活かした 同窓会づくりが始まります

現在、「女性が輝く社会づくり」が唱えられています。男性にはない女性独特の力や感性には計り知れない可能性があり、それを積極的に取り入れることで、社会や経済を活性化させようという動きが、あらゆる分野で現れています。本同窓会においても、時代にふさわしい同窓会づくり、そしてその活性化を目指すうえでも、女性の力は不可欠です。

しかしながら同窓会の男女比を見ると、女性会員が少ないのが現状で、それだけに、女性会員の積極的な同窓会活動への参加が望まれますが、結婚、出産、育児といった問題により、参加が困難な女性も少なくありません。また、長時間の移動や宿泊をとまなう活動に負担感を覚えるという声も、女性会員から多数、寄せられています。

そうしたなか、「成功事例に学ぶマーケティング講座」において、女性マーケティング関連の成功事例発表があることを機会に、女性会員の入会や主体的な活動参加の促進を目指した「女子活性化研究会」が開催されました。

10月11日、会場となった東京・世田谷キャンパスの会議室には、北海道、東北、関東・北信越、近畿・東海、中国・四国、九州の各ブロックから選任された女子会員など約20名が集結。アドバイザーに株式会社 群馬マーケティングセンターの沼澤啓吾氏を迎え、前日に開催されたマーケティング講座で得られた知見をもとに、現状の分析と課題の明確化、基本方針の策定と将来展望などについて、熱心な研究・協議が行われました。また、女性ならではのイベント企画の視点や手法なども、いろいろと提案され、具体的な活性化策が話し合われました。

参加者の声



新潟県 越後湯沢温泉
湯沢グランドホテル
社長女将

村山桂子さん

昭和42年卒。中学校の体育教師を3年間務め、越後湯沢「スエヒロ館」(現・湯沢グランドホテル)の長男・村山茂之氏と結婚。平成4年、湯沢グランドホテル女将となる。現在、「全国女将サミット」運営委員。

今、世の中は、たいへん厳しい時代にあります。私事、私も老体にムチを打ちながら、湯沢グランドホテル社長女将を務めています。様々な業界の方々とおつきあいしていると、組織や団体の運営は甘いものではないという実感を日々、強めています。

そんななかでも、私が様々な困難に立ち向かっていけるのは、母校で培った「日体魂」のおかげだと思っています。お客様から、「女将はいつも元気だね!!」「笑顔がいいね!!」と言われるたびに、私の力の源は、日体大で鍛えられた不屈の精神力であり、同窓会の「絆」だと感じるのです。そして、様々な人々と出会う時、講演を依頼された時などは、日体大卒業生である誇り



長野県 信州上諏訪温泉
RAKO華乃井ホテル
取締役女将

白鳥和美さん

平成4年卒。ホテルのオープニングスタッフとして入社。その後、ホテル開業以来の「若女将」を経て、現在の取締役女将に就任。「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」の特別部門「もてなしの達人」にも選出された。

現在、同窓会は様々な問題を抱えています。私は企業同窓生が同窓会にあまり関心がないことに寂しさを覚えます。同窓会に参加しても、自分のビジネスにメリットがないと考えているのかもしれませんが、本当にそうなのでしょうか？

少子化が進んでいる現在、企業は優秀な人材が確保できる組織や、販促に利用できる団体に強い関心を持っています。そう考えた時、8万人余りの同窓生を誇る母校同窓会は、他のいかなる団体にも劣らないマーケットとして見えてくるのではないのでしょうか。

企業のニーズと母校の問題点をつなぐ役目ができるのも、同窓会にしかできないことなのかもしれません。

『日體人』3号にて、松浪健四郎法人理事長が「脱皮しないへビは死んでしまう」とお書きになっていました。大きく変化していく時代だからこそ、自らが関わっている組織の5年後、10年後の姿を模索し続ける姿勢が大切なのだと感じました。

先日、ひさしぶりに母校を訪れましたが、私が過ごしたキャンパスの面影はなく、洗練された校舎と最新の設備に、時代にふさわしい組織の「脱皮」ぶりを拝見しました。

変化を続ける母校と、改革を推進する同窓会の姿勢を学び、私も日体ファミリーの一員として、自らのフィールドで荒波を必死に乗り切ろうと思います。



RAKO華乃井ホテル

都市型ホテルの心地よさと、旅館の優雅さをあわせ持つ諏訪湖畔の南欧風ニューリゾート。地酒風呂や温水プールなども揃う。
<http://www.hananoin.co.jp>

について、お話しさせていただいています。

私は、同窓会の活性化は、必ず、皆様にも、厳しい状況を乗り切るための力を与えてくれるものだと思っています。幸いにも、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これは日体大同窓会を盛り上げるよいチャンスです。そして、現代は女性の時代でもあります。同窓会の活性化には、女性の力が今こそ必要です。同窓会の女性会員の皆様、アイデアと力をお貸しくださいます。私も微力ではございますが、少しでもお役に立てますよう努力してまいります。



湯沢グランドホテル

四季それぞれの景色を感じながら、館内での湯巡りや地元の食材を活かした料理が楽しめる、温泉情緒たっぷりの宿。日頃の疲れが癒される。

<http://yuzawagrandhotel.jp>

「成功事例に学ぶマーケティング講座」 寄付・協賛金のお礼

「成功事例に学ぶマーケティング講座」開催にあたり、下記の団体、個人の方々より、ご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

岡本 昭

有限会社 正木屋

株式会社 広島リビングセンター

ステキハウス88

株式会社ステージングアップ沖繩

有限会社どいびる企画

日東メディカル株式会社

阿南憲治
伊藤延世
上杉正三
大山裕一郎
高田和男
高田幸一
高田直昭
田口孝男
辻 潤治
土井敏正
本田和人
向井廣志
矢部和之
八幡満夫
米山英津子

日本体育大学秋田県同窓会
日本体育大学秋田県保護者会
日本体育大学栃木県同窓会
日本体育大学神奈川県同窓会
日本体育大学富山県同窓会
日本体育大学愛知県同窓会
日本体育大学岐阜県同窓会
日本体育大学和歌山県同窓会
日本体育大学鳥取県同窓会
日本体育大学高知県同窓会
日本体育大学福岡県同窓会
日本体育大学長崎県同窓会
日本体育大学宮崎県同窓会
日本体育大学沖縄県同窓会

菅公学生服株式会社
タイヨ一建設株式会社
株式会社 有楽園

学校法人実学舎
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校

OBOG探訪

各界で活躍する日体大同窓生。

本号では観光地で輝く企業同窓生に、

仕事のこと、日体大への想いなどをお聞きしました。



大野哲児さん

株式会社大澤屋 専務取締役
〔平成7年卒〕

大野浩江さん

(旧姓：大河原)
株式会社大澤屋 常務取締役
〔平成7年卒〕

伊香保温泉の程近くで2店舗を構える水沢うどん大澤屋は毎年27万人を超すお客様が来店されます。私(大野哲児)は大澤屋に就職して今年で16年になります。大学卒業後、地元福岡で一般企業に就職しましたが日体大在学時に会った妻との結婚を機に群馬へまいりました。当初は戸惑うことばかりでしたが妻・浩江とともに会社、スタッフ、地域をもっと良くしたいという気持ちでいろいろなことに取り組んでまいりました。

今でこそ水沢うどんは日本三大うどんに挙げられるようになり、たくさんのメディアからも取材が来るようになりました。また、海外にも目を向け農林水産省の輸出事業の一環で日本食をPRするべくアメリカ、イギリス、ドイツ、中国と活動しました。その後、経済産業省の認定事業である「地域産業資源活用事業」の認可を取得し新しいうどんの開発に取り組んでいます。これは日本初となる国産有機小麦を使用した石臼引き全粒粉の半生うどんの開発です。小麦も少量ながら自社農場で育てています。専用の製麺施設をつくり有機認定も取得しました。今後も新たな挑戦を続け、当社の理念でもある「食を通じての人間形成」を念頭に大澤屋に関わる皆様と生成発展していきたいです。

群馬にお越しの際には、400余年の歴史ある水沢うどんをぜひご賞味ください。お支払い時レジにて10%割引(日体大同窓生会員であることをお伝えください)の同窓会員特典もございます。



株式会社 大澤屋

〒377-0103
群馬県渋川市伊香保町水沢198
TEL:0279-72-5872
<http://www.osawaya.co.jp>
tetsuji@osawaya.co.jp



吉原雅子さん

(旧姓：土谷)
有限会社ホスピタリティオフィス・吉原
ホテル芙蓉倶楽部 代表取締役社長
(別府ホテル芙蓉倶楽部 代表者)
〔昭和54年卒〕

別府IC左折1分、風光明媚な高台に私どものホテル芙蓉倶楽部がございます。

21年前、15年勤務させていただいた高校を後に、家族と共にこの世界に飛び込みました。地元の老舗旅館が協力くださり、どうにか新規開店にこぎつけました。「経営的にもうダメか!」という場面も何度か経験しましたが、今まで続けてこられたのは芙蓉倶楽部を応援し続けてくださったお客様の笑顔と、あきらめない意志、それに尽きるように思います。

10年早いと言われたホテル形式の旅館、温泉地でのエステ、フレンチでの夕食ですが、今ではどこのホテル旅館でも当たり前になっていますね。当ホテルでは、さらに和食の料理長も加わり、小さいながら和食洋食両方をお楽しみいただけるようになりました。玄関からすべてフラットで移動できるフロアには、車椅子のお客様もいらっしゃいます。

5年前より、日体大同級生の主人(吉原和夫)がホテル業に参戦してくれました。高校でのサッカー指導者歴が長く、何より人が大好き! 営業の柱として、そして私の心の支えとしてなくてはならない存在です。お客様の笑顔がある限り、精一杯、夫婦仲良く、おもてなし業に邁進してまいります。もちろん日体大割引もございますが、私学共済、全国教職員互助団体協議会にも加盟することができました。併せてご利用くださいませ。九州の旅は、お任せください! 皆様にお会いできますこと、楽しみにお待ちしております。



別府ホテル芙蓉倶楽部

〒874-0831 大分県別府市堀田7-1
TEL:0977-26-7711 FAX:0977-26-7719
<http://www.fuyouclub.jp>

第49回日体フェスティバル2015報告

平成27年10月30日(金)～11月1日(日)の3日間、横浜・健志台キャンパスにて「第49回日体フェスティバル2015」が開催されました。天候にも恵まれ、3日間で計1万7100名の来場者がありました。

同窓会は県人会活性化の試みとして、昨年出店した山形県の「玉こんにゃく」販売をモデルに各支部同窓会に物産販売等と呼びかけました。保護者会にもご協力いただき、山形県をはじめ、山梨県からは「ほうとう」、神奈川県からは、「ホルモン焼き」と「煮込み」が販売され、瞬く間に売上の盛況ぶりでした。



教諭を目指す学生の良き模範者養成の場 日体教学舎について

平成27年5月より、大学において、小学校教諭・中高保健体育科教諭・養護教諭を育成する特別プログラム、「日体教学舎」が始まりました。

母校日本体育大学にとって、教員養成の質の向上を図ることは必須の課題であり、これまでも、①教員免許状取得必修プログラム(1年次、2年次、3年次を対象)、②個別指導(教員経験者による個別の相談・指導)、③教員希望者向け宿泊研修(仲間意識を高め、切磋琢磨して学習できる環境の構築)、④同窓会と連携した学習会(同窓生による教員採用試験対策)等、様々なプログラムを編成し、学生対応に努めてきました。そして、さらに強力な施策として、「教諭を目指す生徒たちの良き模範者となる学生の養成の場」の創造をコンセプトにプログラムを開発しました。それがこの「日体教学舎」です。

日体教学舎の対象となったのは、教職希望者の中から小論文や面接を課して選抜された15名のみで、大学教員が、長い経験から習得した理論と、実践に基づいた専門

性を直接伝授。また必要に応じて外部指導者にも協力を依頼し、校種別の教育課題等に関する講義や集団協議、教員採用模擬試験や、「いじめ」「不登校」「体罰」「情報モラル」といった現在、学校現場で問題になっていることについての講義が行われ、さらには自己の考えを小論文にまとめる課題や、模擬授業など、質の高い指導が実施されました。

5月18日に開学式が行われた日体教学舎は、以後、毎週月曜日、東京・世田谷キャンパスで開催され、夏季休暇中には合宿も行われました。そして平成28年1月18日に、それまでの成果の発表会を開催。出席した谷釜了正学長から「受講者は学生の模範となるとともに、より高い実践的指導力を身につけてほしい」、また具志堅幸司体育学部長から「名選手、名指導者にあらず。常にアンテナを立てて情報収集する姿勢が大切です」という言葉が生徒たちに伝えられ、全28回のプログラムを終了しました。



第53回

日本体育大学体育研究発表実演会

125周年記念事業メインテーマである「日体大が刻んだ125年これまでと、これから」に基づき、テーマ「紡ぐ」を掲げ、第53回体育研究発表実演会が、平成27年11月11日・12日の2日間にわたり、横浜アリーナで開催されました。

初日は学生と保護者・同窓を中心に1万1000名の来場があり、来賓として衆議院議員の二階俊博氏より、激励のご挨拶がありました。2日目は招待者と一般の方を対象として1万名の来場があり、来賓として文部科学大臣の馳浩氏より、御祝いの言葉ももらうなど盛会裡に終了しました。

今大会は、両日とも司会は森末慎二氏と佐藤弘道氏が務めました。プロローグセレモニーでは初日に柏日体高等学校と日体荏原高等学校が演技、2日目は浜松日体中・高等学校と日体桜華高等学校が成果を披露しました。また、両日ともシンガーソングライターの優菜(ゆな・平成27年卒)さんの歌と学生有志による和太鼓がセレモニーに花を添えました。

今大会のプログラムは以下のとおりです。

初日セレモニー

- 1 吹奏楽・チアダンス…柏日体高等学校
- 2 荏原の体育…日体荏原高等学校

2日目セレモニー

- 1 吹奏楽…浜松日体中・高等学校
- 2 N・K・P…日体桜華高等学校

共通のセレモニー

- 1 演奏…優菜 2 和太鼓…学生有志

開会の挨拶

1. 集団行動(日体幼稚園)
2. チアリーダー
3. 体操
4. 新体操
5. 体操競技
6. 伝統芸能(大田楽)
7. 125周年記念セレモニー
学長・理事長挨拶
8. トランポリン
9. 朝鮮民族舞踊(朝鮮大学校)
10. 太極拳(北京体育大学)、少林寺拳法、空手道
11. 集団行動
12. ダンス
13. エッサッサ
14. フィナーレ



1. 隊列変化やクロスなど、難しい技を笑顔でこなした日体幼稚園集団行動



2. アクロバティックなパフォーマンスを披露したチアリーダー



3. 組立体操の演技で集団美を披露した体操



4. 幻想的な演技を見せた、創立5年目の新体操





5. 世界選手権で活躍した白井健三選手と村上茉愛選手も登場。最高レベルの演技を披露した体操競技



6. 4種類の衣装で優雅に演じられた大田楽



7. 校歌斉唱で盛りあがった125周年記念セレモニー



8. 世界選手権代表による高度な技が紹介されたトランポリン



9. 「チャンゴ(長鼓)の舞」と「サンモ(象毛)の踊り」(帽子の上に付けられたリボンを回す)が披露された朝鮮民族舞踊



10. 様々な技が観客をわかせた太極拳、少林寺拳法、空手道



11. 美しくも難度の高いパフォーマンスで人々を魅了した集団行動。練習で歩いた距離は、東京→鹿児島間に相当する1380km！



13. 日体魂の発露、エッサッサ



12. ミュージカル『レ・ミゼラブル』の曲で披露された、優雅で力強いダンス



14. 力を発揮しきった達成感と喜びにあふれる演技者たち

同窓会支部活動報告

報告事項 ①会長名 ②活動状況概要 ③会員数 ④総会または懇親会参加者数 ⑤研修会内容 ※会合等の開催年に関しては、特に記さないかぎり、平成27年です。

北海道ブロック

道央

報告事項 ①上杉正三(昭和47年卒)/②a) 支部役員会、地区長・事務局長会議 b) 教育実習担当者会議 c) 会員名簿作成 d) 保護者会との連携 e) 教員採用試験対策講習会/
③ 234名(小樽地区38名、札幌地区152名、南空知地区44名)

道東

道東の昨年度の最大の事業は、北海道地区協議会の開催。道央、道南、道北、道東の4支部の代表が帯広に集まり、瀧澤康二同窓会会長をはじめとする役員、並びに松浪健四郎法人理事長、谷釜了正日体大学長にも出席いただき、盛況のうちに閉会しました。また8月中旬より帯広市と清水町において行われたスケート部(スピード部門、男子アイスホッケー部門、女子アイスホッケー部門)の合宿に激励訪問しました。昨シーズンは、女子アイスホッケーがインカレ優勝、男子アイスホッケーがインカレ準優勝とすばらしい結果を残し、道東支部としても嬉しく、今後の事業推進に大きな励みとなりました。

報告事項 ①吉田忠治(昭和50年卒)/②a) 総会[6月6日・十勝川温泉笹井ホテル]:十勝、オホーツク、釧路、根室の各地区長・事務局長が参加

道南

北海道ブロックが設立され、4年目を迎えました。道南支部は函館、室蘭、苫小牧(日高を含む)の3地区から成りますが、昨年度、事務局は室蘭から苫小牧に移動し、今年度まで担当します。また今年度は、北海道地区協議会を苫小牧で開催する予定であり、今から緊張感の中、準備を進めているところです。

報告事項 ①五十嵐卓二(昭和50年卒)/②a) 幹事会・役員会[8月22日]:B項表彰式、懇親会も併せて開催 b) 各地区総会[函館地区6月、室蘭地区7月、苫小牧地区11月]/
③ 145名(函館地区58名、室蘭地区43名、苫小牧日高地区44名)/④ 12名(支部役員会を総会とする)

道北

道北は日本最北端にある支部で、利尻や礼文などの離島も含めた広い範囲にわたる地域



道東 帯広で大々的に開催された北海道地区協議会

から日体大同窓生の活躍が聞こえてきます。名寄、旭川、北空知の3地区から成り、それぞれの地区で独自の取り組みをしていますが、今後は、地区同士の交流を深めていきたいと考えています。来年度には、北海道地区協議会が旭川市で開催される予定で、現在、準備を進めているところです。また、網走市に開校予定の日本体育大学附属高等支援学校(仮称)について、一人でも多くの生徒を道北から送ることができるよう、組織をあげて力を注いでいく所存です。

報告事項 ①前野和義(昭和44年卒)/②a) 地区総会 b) 支部役員会 c) 懇親会 d) ゴルフ交流会 e) 情報交換会/③ 147名

東北ブロック

青森県

報告事項 ①春藤英徳(昭和39年卒)/②a) 総会 b) 会員研修会 c) 支部長・事務局長会議(県内6支部) d) 教育実習直前指導 e) 教育実習特別講師巡回指導 f) 女子同窓



青森県 充実した教員採用試験対策研修会

の集い/③ 173名(平成27年度年会費納入者数)/④ 28名/⑤ 教員採用試験対策研修会(保護者会との共催)[12月29日]:講義1「今、求められる教師像!」講師・長利允弘 西目屋村教育長(昭和41年卒)、講義2「採用試験突破に向けて」講師・今田靖之 東北町立東北中学校教諭(平成27年卒)。学生8名、保護者8名、スタッフ6名、計22名が参加

秋田県

報告事項 ①高田和男(昭和44年卒)/②a) 代議員総会:併せて保護者、教育実習生を交えた研修事業と懇親会を実施 b) 女子同窓の「お喋りティータイム」を企画 c) 県内合宿中の学生等の激励/③ 300名/④ 代議員総会80名(研修事業参加者も含む)/⑤ 県同窓会60周年・保護者会25周年記念講演:「私の東京オリンピック」講師・千葉吟子氏(1964年東京オリンピック体操競技女子団体銅メダリスト)

岩手県

報告事項 ①藤原英輔(昭和37年卒)/②a) 総会・懇親会[12月12日] b) 現役学生研修会[平成28年1月] c) 保護者会交流会[7月12日]:会長講話等実施 d) 役員会:年4回/
③ 約450名/④ 32名/⑤ 「先輩講話会」

山形県

山形県は5支部(村山、置賜、田川、飽海、最北)から成り、輪番で総会・懇親会を開催しています。また、一昨年からFacebookに

よるホームページを開設し、会員への情報提供を行っています。

報告事項 ①武田允興(昭和42年卒)/②a) 総会・懇親会 b) 学生進路勉強会 c) 保護者会との連携 d) 会報「燦」発行:年1回/③約500名/④25名

宮城県

報告事項 ①赤坂英昭(昭和38年卒)/②a) 役員会総会・懇親会[7月12日] b) 教育実習巡回指導 c) 杜の都全日本大学女子駅伝応援/③約400名/④役員会総会・懇親会20名/⑤a) 就職対策研修会[12月27日]:学生9名、保護者13名、同窓生3名、役員6名、計31名が参加 b) 同窓生研修事業「トレーニングセミナー」[12月27日]:同窓生10名、保護者5名、高校生30名、役員5名、計50名が参加

福島県

福島県同窓会は県内5支部から成り、総会には行わず、各支部代表による代議員会を実施しています。また各支部において、総会や懇親会、研修会、広報発行などそれぞれの活動を行っています。また、相双支部については、東日本大震災・東京電力原発事故の影響で活動が十分にできない状況です。

報告事項 ①佐藤忠雅(昭和43年卒)/②a) 代議員会 b) 教育実習巡回指導:毎年開催。特別講師が各校を回り、実習生をサポート、指導 c) 就職相談会[12月29日]:学生、卒業生を対象に開催 d) 保護者会との連携事業/③約500名

関東・北信越ブロック

茨城県

茨城県は理事会、総会、懇親会、講演会な



宮城県 31名が参加した就職対策研修会

どを年間事業に位置付けて開催。名簿、会報、研修、企業、女子の5委員会を設置するだけでなく、県内5地区においても同様に5委員会を設け、組織的に活動しています。また、保護者会と連携・協力関係を構築し、諸事業で交流を深めています。

報告事項 ①米山公治(昭和52年卒)/②a) 総会:荒木達雄日体大教授による講演、各種表彰を併せて実施 b) 教育実習生の指導:中学12名、高校10名、計22名/③約500名/⑤研修委員会、女子委員会が実施

栃木県

報告事項 ①小曾戸和彦(昭和49年卒)/②a) 総会・懇親会:隔年で開催。平成25年度に続き、昨年度に実施 b) 教員採用セミナー:教育実習期間中に開催。昨年度は6名の学生が参加。今後は就職セミナー等も行い、学生への様々な情報や援助提供により、同窓会の活性化につなげていきたい/③544名/④約100名

群馬県

群馬県は4地区から成り、毎年、総会・懇親会を輪番で実施。この県総会の後、各支部で支部総会を開催し、県総会の資料や県広報誌「上州エッサッサ」等を配布しています。一昨年度より、若手の参加を目指した平成卒業の懇親会、「平成の会」を設立して若手の参加を目指していますが、一方、60歳以上の会員にはゴールド会員制(終身会員)を採用。県本部に1万5000円、支部に1万5000円の計3万円を納めていただき、群馬県支部の活動に活用させていただいています。

報告事項 ①清水洋(昭和48年卒)/②a) 総会・懇親会 b) 女子部会:総会[4月]、研修旅行[6月・玉原高原、10月・河口湖]、忘年会[11月]を開催 c) 企業部会:懇親会、情

報交換を行う d) 保護者会との連携:総会・懇親会での情報交換、就職セミナーの開催等 e) 「平成の会」:平成卒業の懇親会。情報交換等を行う f) 教員採用試験対策:学生を指導。試験実施後には検討会を開催。また教員を目指す学生に対しては、非常勤講師等ができるよう窓口を広くしている g) 県人学生との懇談会/③980名/④132名(各支部の理事と評議員)/⑤教育実習指導者研修会:実習生への関わり方、指導助言の方法を研修

埼玉県

埼玉県は、顧問2名、参与10名、会長1名、副会長5名、理事24名、監事2名、事務局3名の体制で活動しています。

報告事項 ①永嶋龍次(昭和36年卒)/②a) 総会・懇親会[2月中旬]:研修会も併せて開催 b) 理事会:年2回[7月、12月] c) 公立学校採用試験研修会[5月・東京・世田谷キャンパス]:学生対象 d) 臨任・非常勤対象研修会[4-6月・県内]:年4回 e) 教員採用試験2次対策講習会[7-8月] f) 教育実習巡回指導:中高69校、実習生94名、特別講師23名 g) 会員親睦ゴルフコンペ[10月]:年1回/③約1000名/④80名/⑤総会併催研修:「スポーツ科学と競技力向上」講師・西山哲成日体大教授

千葉県

千葉県は、年1回の総会・懇親会をはじめ、様々な活動を展開しています。昨年度は総会において役員の改選がありましたが、ここ数年、総会・懇親会への参加者数は減少傾向にあります。平成25年度から、総会後には保護者会と共催で特別講演会を実施しており、平成25年度は、松浪健四郎法人理事長に「明日の日体大」という演題でお話いただき、平成26年度は、具志堅幸司日体大体育学部長に「わたしと体操」という演題で講演をいただきました。昨年度は、保護者会の主催で、須永美歌子日体大児童スポーツ教育学部准教授より「女性アスリート特有の健康障害と月経周期に伴うコンディションの変化」というテーマでお話いただきました。

報告事項 ①高橋一博(昭和54年卒)/②a) 総会・懇親会[7月4日]:年1回 b) 保護者会との合同懇親会:学生と保護者会支援を目的に開催 c) 教育実習巡回指導 d) 教員採用試験対策/③約700名/④26名

東京都

報告事項 ①高田幸一(昭和50年卒)/②a) 総会・研修会・懇親会[7月] b) 役員総会:年4回[4月、5月、11月、3月] c) 執行部会:年4回[6月、9月、1月、3月] d) 支援委員会:年4回[5月、9月、12月、2月] e)

教員採用試験1次対策:支援委員会が4-6月に4回実施。受講者7名が東京都で合格 f) 教育実習生の指導:特別講師57名。123校で205名の学生を指導。11月に反省会を実施。41名参加 g) 広報誌「日体魂」発行:年3回。広報委員会による/③案内発送会員約1400名、年度協力金納入者(年度会員)約270名/④70名(学生を含む)/⑤講演:「日体大で培った人間力」講師・比嘉悟芦屋大学学長

神奈川県

神奈川県は10支部から成り、各支部ごとに教育実習生激励会や学習会、研修会など、会員相互の資質向上を目指した様々な活動を展開しています。

報告事項 ①八幡満夫(昭和47年卒)/②a) 総会:毎年12月第1土曜日に忘年懇親会を兼ねて開催 b) 日体フェスティバル参加[10月30日]:保護者会とも協力し、厚木シロコロホルモンの販売とともに、本県同窓会への積極的な勧誘活動を行う/③1007名/④毎年150~200名/⑤a) 神奈川日体未来塾(就職対策セミナー):毎年8月に教員採用試験2次対策として開催し、12月には学生と保護者を対象に、卒業後の就職に向けて実施 b) 管理職・中堅職員研修会:毎年10月に開催。例年30~50名が参加 c) 全体研修:毎年12月に開催。例年70~80名が参加

新潟県

新潟県は全県を佐渡、村上、新発田、新津、新潟、三条加茂、巻、北魚小千谷、中魚十日町、南魚六日町、長岡、柏崎、上越、糸魚川の14ブロックに分け、それぞれが地域性を活かして活動しています。

報告事項 ①矢部和之(昭和51年卒)/②a) 事務局会議:年1回 b) 役員・地区長会議:年2回 c) 教育実習巡回指導者会議:年2回 d) 講演会:年1回。昨年度は松浪健四郎法人理事長から「日本体育大学のこれから」という演題で講演をいただき、同窓会会員、保護者等約90名が参加 e) 就職対策・教員採用検査対策講習会:年4回 f) 会報発行:年1回 g) 総会:年1回/③約400名



新潟県 総会での松浪健四郎法人理事長の講演

石川県

報告事項 ①金木勝(昭和48年卒)/②a) 総

会[7月4日・能登半島和倉温泉「のと楽」]:谷釜了正日体大学長にも出席いただき、盛大に開催。今年度総会は6月25日、金沢地区で開催予定 b) 東京・世田谷キャンパス、横浜・健志台キャンパス見学[11月11日]:総会出席の同窓生の提案により見学会を実施。見学後は、同日開催の横浜アリーナでの体育研究発表実演会を観覧 c) 教育実習巡回指導:5名の特別講師が指導/④50名

福井県

福井県は県内を5地区(福井、坂井、奥越、丹南、嶺南)に分け、輪番で総会・懇親会を実施しています。

報告事項 ①阿部登記造(昭和43年卒)/②a) 教育実習巡回指導:特別講師による b) 保護者会参加:就職状況や教員採用状況等の説明、意見交換を行う/③約300名/④50名/⑤教育実習生を集めての全体研修会

山梨県

山梨県は県内6支部に分かれて活動しています。

報告事項 ①望月大和(昭和42年卒)/②a) 総会[12月5日・甲府] b) 就職対策事業・教育実習報告会:毎年1月に本県出身の学生を対象に東京・世田谷キャンパスで実施。研修会の後には学食で交流会も開催 c) 日体フェスティバル参加[10月30日]:県人会ブースを出店し、ほうとうを販売/③約300名/④50名/⑤鈴木政一・依田充代日体大教授(本県出身)による講演:毎年、総会に併せて開催

長野県

昨年度は日体生の合宿の拠点でもある北志賀高原竜王のホテルタガワで関東・北信越地

区協議会を開催。一昨年度より実行委員会を数回開き、準備を進めてきました。開催にあたっては谷釜了正日体大学長、瀧澤康二同窓会会長をはじめ、各都県より大勢の皆様にお越しいただきました。至らない点が多々あったかと思いますが、本当にありがとうございました。本年度開催地の東京都にどうか橋渡しができたかと思えます。また、協議会翌日は菅平グリーンゴルフで学長杯ゴルフコンペも開催され、20名以上が参加。楽しい時間を共有しました。

報告事項 ①小林武(昭和43年卒)/②a) 総会[2月11日・上田市(東信)]:毎年同日に北信、中信、東信、南信の4支部の持ち回りで開催 b) 就職対策研修会[1月4日・松本市]:学生、保護者35名ほどが参加。教員採用試験(高校、中学)の合格者から合格体験を報告してもらい、日頃の心構え等についても助言をもらう。教員以外の分野にも講師を依頼して講義を実施 c) ゴルフ研修会[8月]:4支部が輪番で開催 d) 会報発行:年1回

近畿・東海ブロック

静岡県

静岡県は、東部、中部、西部の3支部から成り、「元気で行こう日体大」を合言葉に、会員の絆をつなぐ同窓会活動を展開しています。

報告事項 ①土屋正男(昭和46年卒)/②a) 就職対策講習会[1月]:保護者会との共催で、学生を対象に実施 b) 教育実習に関連する指導:3年生を対象に実施。保護者も含め毎年参加人数が増えている c) 教員採用対策指導[8月]:教員採用試験1次合格者に2次面接指導を行い、参加者全員(中学校4名、特別支援2名)が2次試験に合格 d) 同窓会



福井県 総会・懇親会での校歌の熱唱

誌「日體31号」発行[4月]:県内会員の情報交換や同窓会活動の報告を行う e) 総会[11月28日]:隔年で開催。平成26年度は地区総会(3支部)を実施 f) スポーツ講演会:矢野晴之介日体大准教授(女子サッカー一部監督)の講演会と実技指導。浜松日体中学校・高等学校を会場に、県民20名が参加 g) 代表者会:年5回 h) 理事会:年2回 i) 会報編集委員会:年1回 j) 親睦ゴルフコンペ[8月]:年1回/③600名(登録会員数。同窓会総数約1500名)

愛知県

これまで愛知県は高校、中学校等の教員である会員を主体とした活動が中心でしたが、民間企業への就職希望者の増加や母校の児童スポーツ教育学部、保健医療学部の設置にともない、本県出身者が卒業後にUターンできるような支援体制がとれるよう、教育関係者だけでなく、一般・企業部会も様々な取り組みを行っています。

報告事項 ①波多野壽(昭和47年卒)/②a) 支部総会・懇親会:県内6支部で開催。また新年会等を行い、情報交換を行っている b) 教員採用対策講習会[5月、6月]:3日間の日程で学生と同窓生(常勤講師、非常勤講師等)を対象に開催 c) 教員採用2次対策研修会[8月]:1次合格者を対象に実施 d) 学校主任等研修会[7月]:学校管理職の育成を目的に開催/③約1300名/④127名/⑤県内スポーツ団体のリーダーとして活躍する競技団体等の役員研修会を実施。また、競技の枠を超えて、懇親会を9月に開催している

岐阜県

岐阜県は、毎年7月に行われる総会の他、岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨、大学の6支部で相互の親睦を図る活動を展開しています。また、会長を中心に、企業で活躍している同窓生や近県、並びに大学との連携の強化を進めています。

報告事項 ①米山英津子(昭和55年卒)/②a) 役員会 b) 総会 c) 研修会 d) 親睦会 e) 教育実習直前指導 f) 保護者会との連携 g) 会報「日體」発行 h) 会員名簿発行(4年ごと) i) 各種大会応援等/③389名/④31名

滋賀県

報告事項 ①橋爪建治(昭和54年卒)/②a) 総会:年1回。同窓会表彰受賞者の表彰式も併催 b) 役員会 c) 教育実習生指導[6月]:会長からの講話の他、教員採用試験への心構えや受験対策を教授/③300名/④32名(懇親会)



大阪府 総会・懇親会に初参加の若手9名

京都府

京都府は南北に長いので、府北部に両丹支部を設け、毎年5月末に支部総会・懇親会を開催。多くの同窓生が交流しています。

現在、京都は、全国の多くの支部と同様、参加者の固定化、及び減少傾向に歯止めが利かない状況が続いており、役員会でも魅力ある同窓会づくりを進めるべく検討しています。

昨年は、瀧澤康二同窓会会長をはじめ、各支部の多くの役員の方をお迎えして、7月に「近畿女子同窓の集い」、11月には近畿・東海地区協議会を京都で開催させていただきました。十分な「おもてなし」ができたかどうか分かりませんが、無事終了し一同ほっとしています。

教育実習生の事前指導や事後指導の充実、保護者会との連携も十分にできているとはいえませんが、より連携を密にして、大学の現状や学生の様子なども同窓に伝えられるよう努力したいと考えています。

報告事項 ①山口良治(昭和40年卒)

大阪府

今年度の体育研究発表実演会は大阪府と和歌山県で開催予定であるため、実行委員会を立ち上げ、大学との打ち合わせ、開催会場の確保・下見等、万全の体制で演者を迎え入れるべく準備を進めています。同窓会活性化は若年層と女性の動員が不可欠と考えていますが、昨年度の総会・懇親会では初参加の若手9名(男子7名、女性2名)との新たな出会いが生まれました。若年層を増やしていくうえでは、就職に関する支援や情報の提供、そしてその継続が重要だと考えます。また近年、一般企業へ就職する日体生が増えており、教員以外の同窓生も参加しやすい同窓会にすべ

く、その対策を立てる時期にあると考えています。大阪府同窓会ホームページ

<http://www.nittai-club-osaka.com>

報告事項 ①白石俊次(昭和47年卒)/②a) 総会・懇親会 b) 専門部へのバックアップと若年交流会:いずれも同窓会の活性化を目的に開催 c) 就職対策研修会 d) 大相撲同窓力士激励会:相撲部OB会との共催/③1700名以上

奈良県

奈良県同窓会は小さな組織ですが、その分、会員相互の深い関わりと、新会員に対するていねいな就職指導を心がけています。昨年度は、ひとりでも多くの会員に総会へ参加してもらえるよう、総会時期の見直しを行いました。また、同窓会活動に足が遠のいてしまいがちな若い人たちや一般企業就職者にも、参加しやすいように様々な取り組みを行っています。そのひとつとして昨年度「奈良県同窓会 平成の集い」を立ち上げました。初の試みで不安もありましたが、平成卒業の若い同窓生20名が集い、楽しく盛り上がりました。

報告事項 ①吉岡幸一(昭和48年卒)/②a) 総会:定例の報告等の他、今年度、和歌山県で開催予定の体育研究発表実演会について討論 b) 教員採用試験対策講習会[6月] c) 「平成の集い」/③120名/④15名

和歌山県

報告事項 ①角谷全史(昭和51年卒)/②a) ブロック長会議[7月4日] b) 総会・懇親会[11月28日] c) 就職支援学習会[1月3日]/③400名/④47名/⑤講義「南部 梅の歴史」:総会の前に、中田食品株式会社にて開催。江戸時代から梅の産地として知られる地元和

歌山県にあるみなべ町と、その梅の栽培の歴史について学ぶ

兵庫県

この数年、会員数は増加傾向にあります。今後も新会員獲得に向けて努力する必要があります。また、会費については、納入者に「日体グッズ」を送付するという工夫により、納入者の増加を図っています。

報告事項 ①高橋一男(昭和44年卒)/②a) 総会・懇親会 b) 理事会:年2回 c) 教育実習巡回指導:特別講師により直前指導を実施 d) 保護者会との連携:総会での交流、保護者会との役員会開催 e) 名簿作成:4年ごとに更新 f) 事務局役員会 g) 教員採用試験対策講習会:新採用になった新任教員を講師として実施。学生からも好評で、昨年度は3、4年生が8名参加。この中から1次試験合格者が出ている/③1690名(会費納入者291名)/④総会42名、懇親会34名

中国・四国ブロック

鳥取県

報告事項 ①松田敏夫(昭和46年卒)/②a) 総会・懇親会[2月]:隔年で開催。支部顧問でもある野田修前県議会議長、横山隆義県議会議員、同窓生が集まり、今後の同窓会のあり方、学生や大学との連携強化策など、活発な議論を行う b) 支部総会:県内にある東部地区、中部地区、西部地区の各支部において年1回開催/③281名

島根県

島根県は、総会等のメインとなる会合の他に様々な活動を展開。必要に応じて採用試験

勉強会や身体操作法などの研修会も行っています。

報告事項 ①重吉伸一(昭和55年卒)/②a) 総会・懇親会:毎年松江市で開催 b) 出雲大学駅伝大会応援[10月]:若者を中心に「日体大」ののぼりを保護者会とともに設置。大会当日には同窓会、保護者会が丸となって母校を応援し、会員相互の親睦を図っている c) 「若者会」:若手会員の交流・情報交換の場/③約240名/④約30名

岡山県

岡山県では、県内を5地区に分け、それぞれの地区(県内では支部と呼んでいます)で毎年1、2回、懇親会を開いています。また、7月に5地区のうち、会員数の多い3地区において、総会を輪番で開催しています。

報告事項 ①神達靖久(昭和44年卒)/②a) 総会・懇親会 b) 教員採用試験対策講習会[6月]:年1回 c) 保護者会との連携:保護者会総会、県人会(保護者会主催)に会長、事務局長が出席 d) 親睦ゴルフ:昨年度で19回を数える e) 女子同好会:「中国・四国女子同窓の集い」に参加 f) 教育実習巡回指導:特別講師を毎年2、3名派遣/③約700名(登録会員数)/④42名

広島県

報告事項 ①光橋扶(昭和42年卒)/②a) 総会・懇親会:毎年広島市で開催 b) 保護者会との懇親会:平成26年度から開始。保護者に大学や学生の現状を伝える機会としている c) 就職指導会:学生、及び保護者、同窓生の就職・採用活動に対する意識の向上を図ることを目的に実施。参加者30名 d) 就職斡旋活動:教員採用試験に合格した学生に対しては臨時採用教員や時間講師等の職を斡旋。企

業への就職を希望する学生に対しては、積極的に会社を紹介 e) 女子部総会:隔年開催/③約910名/④35名

山口県

報告事項 ①江藤修三(昭和40年卒)/②a) 総会[7月]:県内を8支部に分け、輪番で毎年開催 b) 支部総会:毎年、各8支部で開催 c) 会報誌「絆」発行:年1回 d) チャリティーゴルフコンペ:毎年開催。参加者会費を県体育協会に寄付 e) 女子部研修会:8支部輪番により隔年で実施 f) 就職対策講習会:事務局が上京し、学生を集め実施/③約700名(会費納入者約300名)/④40~50名

香川県

香川県は、平成28年2月、役員改選を行いました。今年度は新役員の下、運営を行っていきます。前任者同様、よろしく願い申し上げます。

報告事項 ①松原真一(昭和45年卒)/②a) 総会・懇親会[平成28年2月]:隔年で開催 b) 支部総会・研修会:東讃・高松、中讃、西讃の各3地区で開催 c) 教育実習生激励訪問[6月] d) 教員採用希望者との懇談[7月] e) 卒業生の移動調査[12月] f) 役員会[12月] g) 保護者会との連携:会長による保護者会[7月]での就職活動についての説明や、連絡会[12月]の開催等

徳島県

徳島県は会員相互の資質の向上と親睦を目指すとともに、保護者会とも緊密な連携をとりながら同窓会活動の活性化を図っています。特に若手会員の発掘には力を注いでいる次第です。近年、本県からの体育系大学への進学者が近畿圏や中京地区に集中する傾向が強く、母校日体大への進学者を増やす支援を考えています。

報告事項 ①近藤芳夫(昭和46年卒)/②a) 総会・懇親会[7月11日] b) 就職対策学習会[3月]:会長と事務局が東京・世田谷キャンパスに出向き実施。学生7名参加 c) 教員対策学習会[6月]:学生2名、同窓生2名が参加 d) 教員審査2次対策講習会[7月]:女子同窓生が参加し、特別支援学校の教員として合格。日体大同窓生としては6年ぶりの採用となる e) 教育実習生直前指導 f) 女子部研修会 g) 就職対策保護者講習会:保護者、同窓生、学生が合同参加/③194名/④総会28名、懇親会59名(中国・四国地区協議会[7月11日]と同時開催)

愛媛県

報告事項 ①五島昌明(昭和38年卒)/②a) 総会・懇親会[6月13日・国際ホテル松山]



広島県 広島市で開催された総会

b) 過年度生就職対策事業、並びに学生就職対策事業 c) 愛媛県人会、並びに就職対策講習会 [3月21日・東京・世田谷キャンパス]: 学生10名と、教育実習特別講師、事務局長、平成27年度埼玉県公立中学校採用試験合格者の3名で開催。平成27年度県人会会長と副会長の選出、県人会のあり方、就職対策のための愛媛県同窓会の活用案内や企業で求められる人材像、愛媛県教員採用試験等についての説明を行い、その後、懇親会を開催/③350名/④86名(学生4名、保護者会4名含む)

高知県

高知県は県全体で活動を展開。保護者会主催の県人会にも参加し、連携を深めています。また、学生、教職員を対象とした高知県人会を復活させ親睦を深めています。

報告事項 ①岡崎格(昭和39年卒)/②a) 総会 [7月4日・高知会館] b) 教育実習巡回指導 c) 公立学校教員採用選考審査に向けての学習会 [6月、7月]: 6月は教育実習生を中心に開催。教職、一般教養、専門教養(保健体育)について演習問題を中心に傾向と対策の教授や学習指導案作成の演習講義を行い、面接試験についても重要なポイントの徹底と模擬面接を行う。平成28年度高知県公立学校教員採用候補者名簿登載者2名(中学校1名、高等学校1名) d) 親睦ゴルフ [11月]/③402名/④総会25名、懇親会22名/⑤体育・スポーツに関する講演会を開催

九州ブロック

福岡県

福岡県は、同窓会運営の基本方針や活性化推進基本計画に基づいて、昨年度の方針を①地区活動の取り組みと④地区(北部、中部、南部、筑豊)の結束による活性化、②学生や同窓生が胸を張って故郷福岡に帰ってくるのできる同窓会づくりの2点を掲げました。このために、昨年度は塩谷和雄同窓会幹事長に「同窓会活性化への挑戦」と題して、学生や保護者、同窓生にとってなくてはならない同窓会を目指す同窓会本部の改革への取り組みを説明していただき、会員一同勇気と希望をいただきました。この本部の取り組みを受け、本県でも魂の継承と、現代的な課題に即して会員ひとりひとりに焦点を当てることを念頭に、新しい時代に対応する仕組みづくりを行い、入会者減、同じ顔ぶれ、高齢化という課題に立ち向かうこととしました。

報告事項 ①本田和人(昭和46年卒)/②a) 総会・懇親会 b) 地区総会・懇親会: 各地区で開催。計約220名が参加 c) 県合同研修会: 総会と併催 d) 教員採用試験対策「グル



鹿児島県 みんなでいい汗を流したラジオ体操の研修会

ープ體感」: 年2回開催、うち1回は実技研修。昨年度参加者12名。2次試験対策等、別途個人指導を継続的に行っている e) 学校管理職者研修会「桜友会」: 1泊2日、ゴルフコンペ付き。会員数102名中、約30名が参加 f) 女子部会: 3年に1度、1泊2日で開催 g) 企業人部会: 年1回 h) 県役員会: 年2回、臨時1回 i) 絆委員会: 年2回/③500名(同窓生総数約1500名)/④109名(うち平成元年度卒以降参加者53名)

佐賀県

佐賀県は、佐城、鹿島・武雄、三神、唐松、伊西の5地区に分け、総会を輪番で、懇親会と併せて開催。昨年度は武雄市で実施しました。また、就職活動、同窓会への入会勧誘などにおいて、保護者会との連携強化に努めています。また、学生と同窓生を対象とした研修会では、同窓の先輩方から就職活動に関する講演をいただき、親睦を深めています。

報告事項 ①尾形孝則(昭和51年卒)/②a) 総会・懇親会 [6月] b) 地区懇親会: 年会費2000円 c) 進路対策講習会: 教員採用試験、企業就職への対策 d) 教育実習指導: 特別講師による事前指導と、実習時の巡回指導/③約300名/④33名/⑤入試対策研修会: 本県からの日体大入学者を増やす対策を検討

長崎県

報告事項 ①宮原照彦(昭和49年卒)/②a) 教育実習巡回指導 b) 保護者会との連携 c) 役員・代議員会 d) 教育実習巡回指導反省会 e) 総会・研修会/③354名/④49名/⑤総会併催研修: 「日本体育大学の現状」講師・荻浩三日体大学長室長、山本博日体大社会体育学科長。大学の現状、東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組み等について説明していただく

大分県

報告事項 ①阿南憲治(昭和48年卒)/②a) 総会・懇親会: 年1回 b) 保護者会での講習: 同窓を講師として派遣し、教員採用試験に向けた対策や企業への就職対策等について教示/③約500名/④80名/⑤総会併催研修: 本県出身である荻浩三日体大学長室長から、大学の現状等について説明していただく

宮崎県

宮崎県は同窓会活動の活性化を目標に掲げ、まずは総会出席者の増員を図るべく、会長を中心に取り組みを強化しています。

報告事項 ①後藤憲一(昭和48年卒)/②a) 総会・研修会・懇親会 b) 特別講師による教育実習巡回指導 c) 保護者会総会の開催 d) 女子部会(研修会) e) 学生県人会(就職対策講習会) [平成28年3月] f) 役員会/③約400名/④24名/⑤総会併催研修: 同窓会活性化に向けた方策について意見交換を行う

鹿児島県

報告事項 ①長井忠道(昭和43年卒)/②a) 総会・懇親会: 昨年度は中里浩一日体大教授より、大学の現状、及び入学試験等について説明していただく b) 教育実習巡回指導 c) 教員採用試験、及び就職対策学習会: 学生、同窓生を対象に開催 d) 「若獅子の会」: 平成卒業の若手同窓会を一昨年度より開催。若手会員の県内同窓会の参加促進を図る/③200名(登録会員数。同窓生総数約400名)/④総会50名、懇親会55名/⑤実技研修会: 「10分間の積み重ね 究極の健康づくりエクササイズラジオ体操」講師・長野野一先生。昨今、ラジオ体操が見直されていることから研修会を実施

同窓会誌発行協力金について——御礼

「日體人」第3号(2015年3月発行)にてお願いしました協力金につきまして、
これまでに約1,500名の方々からご支援をいただきました。
ここに皆様方の御協力に厚く御礼申し上げますとともに、
感謝の意を込め、お名前を記させていただきます。

稲葉茂男、島田房孝、今泉和子、井原國男、内藤八千代、大井喜曹子、谷村豊志、佐久間春枝、永田しが子、野見山澄子、徳永一芳、井元文浩、青砥良行、赤星秀年、船山久子、小野博、坂口美代子、永田生江、柳田彰、宮本金作、伊東博、福島富造、大澤壽、佐藤澄恵、湯上幸代、星野百合子、鈴木忠一、福井不二男、宮崎清美、松本敏和、松下正雄、清水富美子、森静夫、三宅照子、小池春雄、赤川堅蔵、中澤正巳、岡本典男、赤星朋昭、吉田邦子、飯田英明、岩崎三樹、菊池光雄、堀武夫、田邊章、藤崎泰助、稲垣安二、齋藤正夫、那須邦弘、山本洋市、鏡谷正義、石田徳郎、大淵恵美子、桂良雄、岡前義春、松井幸、山下賢実、古谷敏彦、大片恵美子、松熊宏明、有田司、中尾友彦、花岡勉、若山博、荒川御幸、尾田政雄、須田清、松永美成、尾野嵩、西吉高、小西益治、石井文雄、二宮賢蔵、松尾泰枝、大津留英二、桑波田稔、上坂志賀子、板屋清孝、北原幸子、奥山幸朗、野呂春樹、水本満男、金当国臣、服部俊、居駒永美、川島久美子、佐分正典、木島富子、三木重信、西島利一、山元みどり、堀勤、斉藤一、橋本道子、勝川稔、岬一夫、花房房子、上田彰夫、竹間洋子、十時孝枝、富田妙子、古谷智江子、山本恒夫、崎野次雄、小柳正照、粟谷敦、兼本哲也、阿部智、工藤諒子、酒井好子、安部泰人、馬場勇、塔尾武夫、宮崎珠瑛、岩波和雄、池永武昭、二田兼男、長坂道男、光子、小林要、斉藤幸枝、佐橋保、山本猛、西野健、島田美代、船越良雄、二宮恒夫、鈴木康夫、高木政春、清本修、竹本正雄、久米昭徳、山本美佐子、西豊光、福江訓一、山崎廣光、大久保義高、貞島瑞穂、大澤弘一、福田洋史、外越俊和、仲村憲三、林博之、大江靖子、結城武則、東嘉伸、嘉藤晋作、山崎澄子、藤田一郎、小尾宏子、小林峰子、三宅啓子、中村誠、鳥井山紘子、坂本正樹、真如紀子、野村正江、小林勉、田中稔、佐野一彦、村山美和、永田重昭、鈴木信子、宮下恒、岡本昌夫、倉橋久雄、土谷里子、岡野年江、新井嘉壽美、柴田俊章、光下正康、鶴崎勲、渡辺増男、金子唯親、小野純由、田中國義、中村昭男、賀久ハル子、福井正幸、土谷秀雄、加藤廣志、船津道博、島田由明、饒村清司、塔尾恵美子、山本十三二、荻原彦彦、杉山巖、加藤弘恭、大西不美子、小松實、須藤昌幸、小川紀子、岡崎泰信、岡村克巳、柏紀子、宮本至、渡部晴行、白石東洋雄、首藤昌迪、鶴我悦子、止野正信、板山勝城、中林厚生、岡松眞明、志村信男、中村隆夫、阿保日出一、菅原豊道、山田弘、前東昭、小嶋笠子、坂井計一、河鍋衛、黒澤功、森山佳代子、鈴木存、松田治廣、守家善三郎、大澤宏子、大崎保司、柴野恒夫、永嶋龍次、村上朝男、佐藤冽、小林哲雄、渡邊佳洋、飯塚十朗、小川紀代子、高木稔榮、小宮山倫斌、錦織昭十四、向本一行、重田勝代、伊藤美枝子、池元啓朗、森重祐輔、香川八千代、武本雅勇、美馬稔子、池本邦雄、瀬口一利、作田末義、河井正輔、設楽紀美子、加藤隆、山形良悦、鈴木浩、多田順一、浅井大忠、明石

一雄、積田麗子、永井薫、野口静男、三木征一郎、藤田徹、土屋洋子、西川伸之、熊本宣博、田内久富、小島勇夫、米山富士子、平野正夫、大平雄脩、小川達二、内海善子、西村一信、松田憲明、中本厚生、山根洋壯、山本実、朝井正敏、宇野由男、真木崇、花田武治、山口紘司、樋口龍之、緒方善政、今村貴久子、笹本勝義、野添哲美、脇田和世、大澤榮子、奈良きよ子、田代恒順、小枝兼悦、前多正彦、松本紘一、佐藤紀一、日高富弘、榎本和男、舛巴照、小川光哉、小滝紘一、仁谷秀夫、佐藤欣也、齋藤治、上野榮子、河村俊彦、河村サダ工、辻田康之、小林龍彦、渡部久美子、正木逸代、平谷拓男、大野典子、井山充弘、崎本幸司、西川弘志、田中啓之、中田哲雄、大西昌三、越智敬一郎、近藤克美、五島昌明、甲木武臣、白水克明、宮本紀夫、錦戸俊平、藁田俊彦、平井徳子、藤田辰美、野村洋子、徳増弘二、渡辺和夫、石田文富、木原勝之、赤坂英昭、升屋文夫、金森幸志、荳司昭夫、菅原康次、春藤英徳、高嶋章、野中庸旦、奥田雄一、月岡靖夫、渡邊苗史、白木靖博、鈴木洋一、飯野敦、米山巖、今泉尚人、田村梅子、堀尾雅明、光川敏郎、荊尾俊、木村政美、中西知、濱田龍男、吉本茂展、佐伯隆三、香月輝一、室園昭子、外川陽一、高須美穂子、杉若隆、穴口浩康、饒村範仁、菊地浩、月館智恵子、餅田茂、石川静哉、上山良昭、村上南海江、宮坂忠子、今井梢、金子豊、山口久夫、初道恵美子、中島晴規、井上靖、瀧澤康二、山崎博明、高橋法枝、大山象二郎、渡辺隆洋、常木茂、池谷孝子、前田律子、甲木貢二、鈴木晨弘、鎌田隆代、山田正幸、高田昭次郎、西口昭徳、武藤紀久、村岸肇、武子、山田正夫、橋上義子、渡部光昭、入江照子、太下晃弘、沖本昭子、長谷川定宣、山本洋子、八木利正、野田修、伊藤隆由、福島俊一、泊泰三、渡部治人、東風上薫、富田平太郎、土井敏正、沖村冷士、武本喜久代、藤井新一、植竹顯一、佃和彦、中田克身、高橋裕子、廣瀬英司、森山康孝、瀧原正俊、野口一英、内橋正明、岡隆紀、安達正隆、黒川勇雄、重枝和洋、寺園嗣聖、田口七郎、藤田忠雄、金森清明、小林智恵子、金野信勇、阿部由貴子、坪元、白井義典、菊池ヤ工子、手塚勝幸、若月哲弘、串間平三郎、下内義光、大内哲彦、迫嘉邦、梅村寿一、横内靖典、竹内功、小野紘二、伊倉恒信、渡辺耕造、和田一郎、岡本進、佐藤尚武、中嶋雅己、浜田勝彦、瀬戸保時、松平忠雅、金谷敬二、畑中澄江、平野和夫、平田徹、奥原滯子、小田トミコ、作間勝年、中村迪子、小田守男、古田福雄、今村正博、佐々木峻、吉松諄、鈴木三郎、福田正子、清原正雄、宮下孝、久保田博三、林義寛、栗田崇、齋藤修平、今野靖政、田中肇、田中晴美、田口ヤス子、佐尾山秀治、串間満子、金子登志子、種村輝男、伊藤博、伊藤延世、松本軍征、岩下悦子、浅倉貞喜、鈴木征紀雄、庭野孝夫、阪本勝彦、細井武治、三宅香、横山隆義、正岡清子、平松携、橋本禮子、采谷義秋、佐藤誠、渡辺靖祐、中島敏彦、野口征次郎、城戸眞勝、大内武彦、八田峯

男、野田喜司郎、後藤登、嶋田レイ子、野原征一、廣島忠士、梶田政昭、坂元興蔵、池野勝昭、西原俊晴、谷内洋介、武田允興、川井忠彦、鳥居大路勝廣、大野隆夫、塚田泰志、木村正、赤石眞一、三上史世、大橋公德、加賀静枝、工藤喜久治、小林清美、武富博、川端重義、村松悠美、野々山昭夫、吉井和夫、木原豊、城戸啓一郎、明石正和、山下眞里、服部暢和、佐伯洋子、飯田加代子、上村史郎、福島弘、田村正克、山田信、上成和子、上田善一、井手和洋、福地理、黒田武、中松琢磨、日渡良治、長井忠道、中脇努、島山敏男、高島さつき、阿部登記造、山口直次、高田和男、前野和義、佐藤満智子、伊藤義男、井田洋、吉村辰明、榎本清、田畑隆子、青木宏治、川口法正、高橋和志、小室正明、由井正巳、内山富之、鈴木照久、柳下泰子、柳本重夫、松布仁志、白井徹男、三好廣子、秋月次郎、福井勇雄、北恵幸、渡邊興司、松尾和恵、益田財治、橋本年一、五島豊八朗、松本富子、長井英子、要田憲雄、又吉慧、作本敏彦、宮木聰、中沖克美、明貝繁、中谷弘男、成田道子、大塚三男、谷藤勝美、鍵市勝秀、松浪健四郎、森田淳悟、今井慶夫、大貫友彦、小島進作、河崎和代、佐々木秀治、中見隆男、渡邊温子、水野和明、鬼頭乾、中西昭、山田徹、大和川明美、楠正彦、松嶋煌、中川恒雄、本庄義治、志方良博、佐倉弘之甫、内村寛、中山博道、越智健治、松尾四男實、坂井充、江頭光男、梶山伸也、宮里正文、神籬薫、星川恵美、高橋俊一、嶋田健一、百濟晶子、桜庭清徳、江口正信、阿部清、田中正明、金井茂夫、関口一眞、小澤正人、奥山実、山本秀治、平井妙子、安井繁男、竹田政雄、大嶋誠、出射省一、高田直昭、村上正治郎、足羽博行、山根勇、西村栄蔵、藤田正広、村田和博、國武潤一、本田和人、松口鈴子、五島三江、宮崎友彦、中山憲史、堤幸祐、國廣敬二、志々場修二、村上哲夫、柿島誠一、齋藤民雄、竹田幸博、西谷義廣、棧邦雄、仲野英司、藤江和雄、橋本昇、関根繁、赤堀美、小嶋啓道、八幡満夫、方波見成生、山本松枝、荒川哲男、小山善啓、近藤伸明、松本淑子、白石俊次、足立篤美、丸茂康子、福岡重信、井上眞美、大浦平八郎、常深進次郎、長谷川雅清、繁原修、小道廣海、荒木和恵、正文文雄、楠清茂、吉田和治、藤岡敬二郎、久保英行、黒木徳男、川浪享逸、青柳典美、二田隆、宇佐美義和、清水正悦、山田とも子、小野英樹、長澤茂利、阿久根英昭、小早川ゆり、鈴木一、岩本正人、向井廣志、伊藤良子、藤田賢、木村邦夫、島山文雄、太田弘志、西岡英明、久本信子、栗原栄、日下部みどり、福澤美恵子、吉田忠生、武村俊昭、吉岡成、平野清、境孝治、阿南憲治、山崎洋一、川浪博子、富田俊実、外館静代、榎本眞智子、藺田有司、塩谷和雄、箕箸博、堀出一夫、鶴見ひとみ、磯部富美子、笹岡宣明、高瀬則光、方井正隆、志水貢一、佃陽子、小林公正、宮川潤司、山本均、宮本香代子、重国修、大岩賢次、有田浩、松尾龍美、宮原照彦、渡辺千賀子、田上榮一、松本幸、茂田

同窓会誌発行協力金のお願い

今回の「日體人」発行にあたり、同窓会活動と母校の近況をお知らせするとともに

会員相互の親睦を図るため、会員に直接お届けすることとしました。

つきましては、本誌以降の誌面充実に向けて、引き続き協力金(2000円)を募りますので、ご協力をお願い申し上げます。

同封の振込用紙に必要事項をご記入のうえ、通信欄に「卒業年(〇〇年3月卒業)」をお書きいただき、

郵便局よりお振込くださるようお願いいたします。

日本体育大学同窓会

幸高、渡辺清美、渡辺俊明、益山厚、屋良博之、河合誠、小森勇、齋藤悌、中川忠博、大山裕一郎、丹野寛、鈴木敬子、日野淳子、村中宏行、桑島恵子、長村成子、大輪仁、土屋正之、辻瀧治、細田昇、田中洋守、奥田勇治、宮下淳、岡上国治、前原達三、藤原利一、下釜綾子、阿比留和裕、柴田善明、坂本陽子、前野講紀、坂元正二郎、高岡桂、山村和恵、矢後雅幸、成田守、阿部俊文、日野喜美子、近山守、柴岡三千夫、吉田美苗、平塚昌利、小田切和彦、鈴木功、四條勉、青山光、辻本吉伸、前西義弘、乾多慶士、塚田幸司、宇根昌範、前田香津美、上平雅子、荒木和謙、川原康嗣、赤星秀子、森英和、小餅谷幸博、荻部望、山貴克郎、武野修治、矢部和之、池口祐二・真利子、松田信、牧野隆一、高橋範夫、野宮加代子、小林幹彦、石井明美、中川浩子、松本文夫、朝倉總之助、佐々木章文、小林整、栗田正明、口野元祥、小須田良子、井上潔、岡本邦浩、湯浅光範、渡邊英典、松尾一明、中橋久、西亨子、山本信男、宮原慶子、津嘉山朝寿、粟田淳子、鈴木淳一、中川尚之、菊地武良、落合直人、野崎敦子、折笠義則、小川真一郎、犬飼正人、岡田正信、大坪義平、大西和雄、梶隆保、小櫻和裕、高田千賀、梅田尚男、北富晴美、中尾泰弘、松本弘二、坂元耕作、成瀬互、本田宗洋、茂木俊男、佐藤喜和子、小林宏、北村礼子、北村泰光、小林光嘉、佐藤由姫、小林早百合、石井宣明、佐藤隆夫、本田高一、若林和人、早川真澄、南敏文、土海猛、寺本浩視、池田章、上村桂司、塚田拓司、芝原佳子、眞鍋昇司、木下勝敏、平位秀敏、平石充子、小林昌彦、川津一芳、中村英登、小松幸幸、山田克江、飯田圭一郎、田中利一、安池滋、山内信之、鷹野久子、諸星明彦、伊藤公英、堀希志志、今井芳治、大西伸弘、宮原正博、出口彰、宮原悦子、三好一郎、河野大助、上田英二、坂井宏安、中禮雅治、高野史郎、関内健、阿部誠、中木克明、竹原捷博、片庭義信、武藤千賀子、三柴博資、土岐真弓、福永いづみ、西館健吾、麻原恒太郎、吉田和子、井口正幸、齋藤稔、中村丈、森本令子、齋藤好史、釜本浩明、矢山精一、中川実、筱原正博、藤本隆、吉田由美、吉金文男、大峯淳子、高橋政敏、井上仁志、田代修、佐々木雅恵、高田佳朗、鈴木一也、佐藤通明、羽成邦男、藤野泰郎、篠原かすみ、山本聡、高木義則、岡田光司、一瀬美恵子、田邊浩二、嘉原唱光、辻寿子、森川壽人、道園久志、永尾桂子、池島増治、福嶋美文、石田純子、東條文子、佐藤孝志、山本暢三、池田伸二、加藤信二、瀬戸徳美、望月幹子、竹内寿夫、篠田敏秀、後藤克幸、小出三枝子、田中健司、荻祐幸、大野芳樹、山口尚美、柴田美枝、東浦一裕、圓尾昌博、曾根幹雄、高橋俊行、今西博一、伊藤光男、高塚章、山本修、三橋幸彦、安達佳代子、野口剛彦、打江謙二、山崎正直、魚澄豊治、奥村一宏、澤田政彦、大田敏敏、佐々木健一、有村孝志、櫻井外郷、成田聡、阿部幸輔、村崎利雄、新井寿哉、島田広幸、柳田友浩、長沢弘、小島基浩、石坂千春、滝沢宏人、

平吹洋子、川崎芳徳、石田達生、石井浩一、矢野咲子、埴生浩二、田嶋浩紀、山崎慎次、白藤金一、齋藤範夫、佐藤公美、佐藤文能、滝沢淳子、若原隆男、西村真一、久門篤志、黒田次郎、村瀬久、北原茂、神川尚彦、中山恭平、大家義浩、若瀬均、深澤健、中村欽哉、渡邊豊、飯生龍也、竹内秀樹、田中敦司、羽田岳文、永井正光、樋口裕志、重森昇、土居真理子、長門和治、西川克幸、山本修、山室晶司、壽浅章洋、山岸秀規、才川力也、金谷晋利、山田佳世子、井尻亜希子、浅田雅之、玉田晋作、内藤輝明、松井伸英、堤浩利、砂原松己、野田克弘、小野澤清史、櫻瀬富美、飯嶋万喜、木本恭嗣、石川健二、吉川公明、笹野裕一、早稲田学、荒木雅義、居原昌彦、上村秀久、岩元はるみ、窪田智司、大城裕子、工藤誠、細川成子、古川昌幸、湯浅徳子、高橋健、徳橋和宏、笹岡由美、太田勝之、内海雅章、河面克行、谷崎真弓、茨木基良、海原六郎、上川健士、前田久之、宮袋誠、谷川原宏一、菊地亨、川上泰彦、原田悦代、立岩京子、別所道記、内藤重人、寺下行磨、橋本繁樹、福永敬彦、豊富尚博、谷脇晋、相原昇、泉博文、中津川澄男、岡崎典生、小野紘志、久朗津義晃、ルドルフ礼子、佐野村学、守屋薫、渡邊明美、大若辰裕、中田典子、中根一幸、後藤和己、泰江寿英、玉置昌也、岡村菜津子、山下克己、東絵里子、小枝千雪、藤木剛、倉水英樹、武岡イネス恵美子、谷万理子、伊橋由記、三宅良輔、西山亜矢子、幾永昌英、中山山泰隆、濱田和人、小島輝夫、角田功、河村智可、辻孝博、井上聡、山野井進治、濱本一哉、宮本征克、小野真一、藤嶋徹朝、三田英郎、永山丈太郎、塚本哲也・聡美、秋山恵、西口幸児、高木久子、細井裕子、渡辺紀子、内山貴之、佐野秀一、吉野正和、堀尾宏治、北畑清誠、森下浩、稲葉大輔、福原博、藤原啓哉、橋詰高博、安藤憲利、大宅芳明、外越俊朗、橋詰淳、長友大、村木元、河邊誠一郎、池田亮介、城井秀光、末安真次、竹森良子、林貴昭、米田哲也、池田陽子、金子峰、小野徳子、岡部文彦、若松裕道、坂本好志幸、竹内徹、堀江成典、私市智昭、山本英樹、狩野好子、木下智宏、松尾幹子、林田克樹、紀伊孝哉、松本健司、坂東隆之、川畑仁、須藤慎、尾形潤、亀岡正博、瀧澤瑞記、遠藤達夫、杉山雄平、森末耕太郎、松田幸史、上村崇、脇若綾、荒西絵美子、青柳祐作、中村貴樹、木下江利子、岡田将、加美山隆俊、海野裕紀、大島小枝、鳥羽真智子、森田慶子、藤田有子、藤田謙治、五十嵐友和、桜田守、葛巻淳、大平将嗣、藤本涉、森康敏、門脇絵美、寺田雅人・由加、足立竜司、田中健二郎、山田泰史、関哲人、福原成人、大崎務、若下聡、福島沙織、水鳥静馬、棟葉正樹、工藤祐士、正司真理子、大中重信、工藤元樹、満松宣成、中西浩二、宮田愛子、松田稔弘、高野文利、宮本一輝、阿部洋平、吉澤仁、千田裕之、吉村治高、平晃知、田中健一、高橋誠、樋口直人、中村秀夫、佐藤大計、関根秀剛、清田英彦、古屋英二郎、北矢宗志、遠藤隼、飯村豊、青山

三智子、横山崇、榎本真也、藤田康人、猿田耕太郎、森達也、堀大孝、小松英人、井上敬介、堀紘通、吉田茂、山本忠芳、寺澤涉、山王和明、工藤英世、茂出木純也、松永成一、橋美花、松岡務・綾子、宮永淳、岩田久美、神谷皇徳、高橋秀和、古澤清隆、吉田仁哉、江口朝永、上別府聖子、国吉真也、金田真代、目黒乃章、高木礁平、清川励、北島康介、中村礼子、野中謙太、藤田喜継、光成芳恵、吉田美幸、小林浩司、佐々木信広、葛西広大、葛西彩、斎藤嘉英、中村文子、北原まり子、高安勇太郎、田中美穂、山下寛臣、鈴木允人、中村めぐみ、川上寿恵、神谷待由記、桂山拓、中島あゆみ、上村彩子、宮崎大伍、志々場祐太、遠藤紗由美、鈴木伸洋、長山香織、横史明、宮川朋子、水鳥一輝、細川幸代、景山優作、岡本翼、原田正之、早川俊基、庭野佐智子、大原雅広、人見将司、石田真澄、水鳥寿思、水鳥豪敏、福家良行、中西順子、三国勇自、石田直子、多田賢司、小林龍太郎、大島千佳、佐藤和輝、岩崎智輝、藤原雄太、畠山静香、三村信、西田つばさ、柳澤奨吾、首藤文子、久保田善彦、内田陽香、鈴木沙苗、池田かすみ、安藤克典、塚田雄二、木村展大、山本健太、竹内隆志、宮崎景子、松下昇平、石井裕樹、横山拓輝、肥後勇介、加瀬弘樹、大森智仁、竹原千郷、丸山和男、平野光家、笠原步美、辻孟彦、中村一雅、木野村知也、益子清美、山崎領、平沼裕美、滝川翔、北尾寛海、井口拓也、山田哲也、平山剛志、大村勇也、矢山奈保実、橋本ひかり、畔上陽介、大月忠敏、富井陽亮、丸山駿弥、松永友里、峯尾洗璃、小泉直紀、近石江理奈、中野まどか、下川菜摘、小川翔史、竹田侑香里、高木健太郎、梅田ゆうき、小林恭子、橋本祐伊知、山縣尚実、下和田翔平、吉梅龍、北富絵里衣、下川祥太、荒木武人、久保和正、城葵、星はるか、新妻正子、折笠梢、今井陽介、田原卓、渡辺大地、工藤友記子、宮本紀澄、川田翔太、金高茜、元木博紀、栢野ひかる、飯嶋厚、山田充、芳賀正雄、石原弘太、中村恵、船橋真亜子、玉越千恵、中村隆春、林田和樹、橋本厚平、朝倉健、高上智史、齊藤杏奈、四住一志、櫻井義之介、竹中諒成、吉原優太郎、半澤庄多、高柳昭博、佐々木晶生、神谷智将、田中伶、田中大智、林祐香、小林将也、川下真司、木村友哉、黒川和岐、宮田泉、關直道、山内厚二、橋本剛、高木美季、青木麻美、夏目賢希、野間一輝、西川千裕、宮崎勇士、中野晃輔、中山みさき、井本恭人、沖田奈都美、栗原菜都記、近松朋美、藤本元則・修巳、龍田賢司、田上和磨、黒木瑠璃華、真壁里沙、平山武秀、重岡慧、酒井めぐみ、大道志保、福田光雄、牧野克彦、栄裕美、片野佑紀、加藤純弥、武田和也、塚越富夫、田中栄治、齊藤道代、佐々木美奈子、澁谷憲昭、柴田勝夫、三浦うた子、鈴木睦、仁科清次、北沢まゆみ、小椋憲浩、小倉洋子、久米歩、田中勝、仁多見一幸、鴛久美子

一度にたくさん学べる総合学習塾

こどもたちの未来を育てる

イオン放課後教室

対象年齢 年長～小学6年生まで

イオン放課後教室は
子どものミライを育てます



学童保育 + 総合学習
の新しいスタイル

1. 体育(運動)、知育(学習、体験)、徳育(礼儀、作法)、食育を総合的に学習しお子さまの可能性を見出す場です。
2. イオン放課後教室が放課後の時間を有効に活用できるよう、指導します。

通常の学童保育ではなく、子供たちの成長に欠かせない

「礼儀やコミュニケーションするチカラ」「思った通りに身体を動かすことができるチカラ」「自分で考えるチカラ」を多様なカリキュラムを通じて育み、しっかりとした大人への人間育成の基礎づくりを行っていきます。



スポーツを通じた
礼儀・道徳の指導



様々な年代の仲間との
コミュニケーション



自分で考え・判断する
チカラの向上



宿題や課題などの
学習も可能



幅広いプログラムで
お子さまの可能性を探る

入会受付中!

イオン放課後教室

<http://www.aeonsportsclub.jp/>

イオン放課後教室

検索

マリンピア店

TEL043-216-2040

千葉県千葉市美浜区高洲 3-21-1 イオン
マリンピア店専門館 B1 [営業時間] 月
～金 10:00～21:00 / 土日祝 8:
00～17:00 [休館日] お盆・年末年始

成増店

TEL03-5968-3101

東京都板橋区成増 2-21-2 ダイエー成増
店6F [営業時間] 月～金 10:00～21:
00 / 土日祝 8:00～17:00
[休館日] お盆・年末年始

田口のとん漬をお贈りください。

大切なあの方へ

厚木名物「肉の田口のとん漬」は、
産地直送の上質な肉だけを厳選し、
当店自慢の特製味噌に、一枚いちまい職人の手で
丹精込めて漬けた自慢の逸品です。

全国発送承ります

厚木名物



税込 箱詰 (7枚入)
2,376円 (本体価格 2,200円)

税込 樽詰 (10枚入)
3,564円 (本体価格 3,300円)



昭和35年創業

牛豚肉卸問屋

株式
会社

肉の田口

☎243-0004 神奈川県厚木市水引1-15-12
TEL.046-221-0822 FAX.046-221-5586

厚木市議会議員として
体育・スポーツの普及に
全力投球中!!
<http://www.taguchi-takao.com>

株式会社 肉の田口 専務取締役

田口 孝男

昭和57年卒 体操競技部 主務



昨年の7月、松浪先生へ市議会選挙
出馬報告を致しました。激戦を勝ち
抜き、トップ当選を果たしました。



当選後、最初の仕事として、厚木
市と日体大との体育・スポーツ協
定を締結させていただきました。

小林常良 厚木市長
体育・スポーツ振興に関する協定 締結式
日本体育大学 厚木市
市と日体大との体育・スポーツ協
定を締結させていただきました。



神奈川県同窓会席上、学生
時代の恩師である瀧澤康二
全国同窓会長と談笑。



<http://watanabe-butsumaru.jp/>

株式会社 渡邊物流

■ 本社

栃木県真岡市大谷本町12番地22

■ 鬼怒ヶ丘営業所

栃木県真岡市鬼怒ヶ丘1丁目15番地3

TEL 0285 (83) 6031 FAX 0285 (83) 6134

■ 寺内営業所

栃木県真岡市寺内1588番地5



FS 90643 / ISO 9001
EMS 90645 / ISO 14001

RST 591404 / ISO 39001

ISO 9001 (品質)
ISO 14001 (環境)
ISO 39001 (道路交通安全)

なつかしい母校のグッズをお手元に、いかがですか？

同窓会グッズ

※価格はすべて税込です



[ゴールド]

[チョコ]

- 1 テディベア(ゴールド/チョコ) Lサイズ(約25cm) 各2,500円
- 2 テディベア(ゴールド/チョコ) マスコットサイズ(約9cm) 各1,000円



3 クッキー(9枚箱入り) 600円



4 クッキー(19枚箱入り) 1,000円



5 エッサッサくんストラップ (ブルー/オレンジ) 各500円



6 スポーツタオル(約105cm×34cm) 1,000円



7 ボールペン(4色+シャーペン) 500円



8 ゴルフボール 2,000円



9 マグカップ 1,000円

購入方法

同窓会グッズの購入を希望される方は、FAX(ホームページに書式もあり)あるいはハガキに下記必要事項①～⑤を明記して、同窓会事務局までお申し込みください。

※商品の仕様・デザインは都合により変更することがありますので、ホームページにてご確認ください。また売り切れの際は、ご容赦ください。

◆必要事項

①お名前 ②ご自宅住所 ③電話番号(日中) ④商品番号と商品名(色・箱入り枚数)、個数 ⑤合計金額

※ご自宅以外への発送を希望される場合は、発送先ご住所・電話番号も併せてご記入ください。

◆送料について

商品は、着払いの宅急便にて発送させていただきますので、送料をご負担ください。なお、商品によってはメール便・レターパックにて発送することも可能です。お電話にてご相談ください。

◆代金のお支払いについて

代金は先払いとなります。FAXあるいはハガキにてお申し込み後、「みずほ銀行」または「ゆうちょ銀行」の下記口座へお振り込みください。入金確認後、2週間以内に商品を発送させていただきます。なお振込手数料については、ご負担ください。

みずほ銀行 世田谷支店 普通8102510 日本体育大学同窓会

ゆうちょ銀行 振替貯金(振替口座)00110-5-604219 日本体育大学同窓会

※ゆうちょ銀行の場合、入金確認に数日(3日～5日程度)かかりますので、あらかじめご了承ください。

[お申し込み・お問い合わせ先] ※お電話でのお申し込みはできません

日本体育大学同窓会

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 日本体育大学内

電話：03-3704-0266 FAX：03-3704-1817

URL：http://www.nittai-club.com/

表紙写真 | 横浜・健志台キャンパス 陸上競技場 ブルートラック：2015年に改修され、第三種公認陸上競技場として、国内大会の開催も可能な施設。トラック表面に施されたタータン(ポリウレタン)は国立競技場と同じ工法で仕上げられている。青地に白線という日体大カラーを彷彿とさせる美と最新の技術を兼ね備えた、将来、メインキャンパスとなる健志台にふさわしい施設となっている。

題字 | 学校法人日本体育大学理事長 松浪健四郎